

令和2年度 佐世保市の環境問題に関する アンケート集計結果(概要版)

令和3年4月 佐世保市環境部環境政策課

1 アンケートの目的

環境行政を効果的に推進するにあたり、市民や事業者の問題意識や取組状況、環境行政へのニーズを把握し、今後の環境行政の展開に活用する。

また、佐世保市環境基本計画の成果指標となっている項目の達成度を当該アンケートにより把握するもの。

2 アンケートの対象

(1) 市民

佐世保市内に居住する20歳以上の男女(令和3年1月1日現在)のうち、支所及び行政センター管轄別の人口割合に応じて無作為に抽出した3,000名(男性1,500名、女性1,500名)

(2) 事業所

佐世保市内の事業所から無作為に抽出した250事業所

3 調査方法

郵送による配布・回収(督促なし)

4 調査期間

令和3年2月5日(金)～3月5日(金)

5 回収結果

(1) 市民 : 1,295 名(回収率:43.2%)

(2) 事業所 : 113 事業所(回収率:45.2%)

6 調査結果

関心が高い環境問題について

《市民》

最も関心が高い項目は、前年度と同じく「地球温暖化」であった。

ごみに関する項目（「食品ロス」、「ごみの減量、リサイクル」、「ごみのポイ捨てと不法投棄」）の関心が高くなっている。

(関心が高い順)

No.	項目	回答数	割合	前年度比	前年度
1	地球温暖化	1,000	77.2%	△4.4	81.6%
2	食品ロス	785	60.6%	△0.1	60.7%
3	ごみの減量、リサイクル	775	59.8%	△1.8	61.6%
4	ごみのポイ捨てと不法投棄	760	58.7%	3.2	55.5%
5	大気汚染(空気の汚れ)	699	54.0%	△5.0	59.0%
6	排水による、川や海の水の汚れ	589	45.5%	△0.9	46.4%
7	再生可能エネルギー	530	40.9%	△3.0	43.9%
8	外来種の繁殖による生態系などへの影響	413	31.9%	△4.2	36.0%
9	身近な自然の減少	390	30.1%	△1.9	32.1%
10	野生生物や希少な動植物の減少	292	22.5%	△2.8	25.3%
11	悪臭	249	19.2%	0.8	18.4%
12	土壌汚染	242	18.7%	△2.2	20.9%
13	騒音、振動	240	18.5%	△1.4	19.9%
14	その他	42	3.2%	△1.3	4.5%
14	無回答	42	3.2%	△1.3	4.5%
合計		7,048			

※ 有効回答数(N):1,295名

《事業所》

最も関心が高い項目は、前年度と同じく「地球温暖化」であった。

前年度より「ごみのポイ捨てと不法投棄」、「悪臭」、「食品ロス」の関心が高くなっている。

(関心が高い順)

No.	項目	回答数	割合	前年度比	前年度
1	地球温暖化	71	62.8%	△2.5	65.3%
2	ごみの減量、リサイクル	60	53.1%	4.3	48.8%
3	大気汚染(空気の汚れ)	52	46.0%	4.7	41.3%
4	ごみのポイ捨てと不法投棄	47	41.6%	10.2	31.4%
5	再生可能エネルギー	45	39.8%	△0.7	40.5%
6	排水による、川や海の水の汚れ	43	38.1%	2.5	35.5%
7	食品ロス	37	32.7%	5.5	27.3%
8	騒音、振動	31	27.4%	3.5	24.0%
9	身近な自然の減少	25	22.1%	0.6	21.5%
10	外来種の繁殖による生態系などへの影響	23	20.4%	3.8	16.5%
11	悪臭	20	17.7%	6.1	11.6%
12	土壌汚染	17	15.0%	0.2	14.9%
13	野生生物や希少な動植物の減少	13	11.5%	0.8	10.7%
14	無回答	3	2.7%	△0.7	3.3%
15	その他	1	0.9%	△2.4	3.3%
合計		488			

※ 有効回答数(N):113事業所

住まいの周辺環境の満足度

《市民のみ》

「満足」又は「やや満足」と回答した人が多かった項目は、前年度と同様に「自然の景観の美しさ」であり、「環境に関する講座や観察会などのイベント」が最も低かった。

(「満足」、「やや満足」と回答した人の割合が高い順)

No.	質問事項 ()内の数値は「満足」、「やや満足」と回答した人の割合の合計	満足	やや満足	どちらとも いえない	やや不満	不満	無回答	合計
1	自然の景観の美しさ (59.8%)	203 15.7%	571 44.1%	301 23.2%	122 9.4%	24 1.9%	74 5.7%	1,295 100%
2	ごみが決められたルールどおりに出されるように するための取り組み (56.8%)	206 15.9%	529 40.8%	295 22.8%	160 12.4%	40 3.1%	65 5.0%	1,295 100%
3	まちの静けさ (騒音や振動など) (52.7%)	200 15.4%	482 37.2%	329 25.4%	170 13.1%	44 3.4%	70 5.4%	1,295 100%
4	ごみを減らし、できるだけリサイクルする取り組み (45.9%)	113 8.7%	482 37.2%	438 33.8%	174 13.4%	25 1.9%	63 4.9%	1,295 100%
5	空気のきれいさ (車の排気ガス、空気のかすみなど) (44.9%)	154 11.9%	427 33.0%	382 29.5%	216 16.7%	49 3.8%	67 5.2%	1,295 100%
6	まちの清潔さ・きれいさ (ごみの散乱・ペットのふんなど) (39.0%)	100 7.7%	405 31.3%	301 23.2%	323 24.9%	102 7.9%	64 4.9%	1,295 100%
7	地産地消の推進 (38.8%)	90 6.9%	412 31.8%	533 41.2%	135 10.4%	34 2.6%	91 7.0%	1,295 100%
8	自然とふれあう機会 (水辺、農地や土、生きものなど) (37.1%)	107 8.3%	373 28.8%	494 38.1%	196 15.1%	41 3.2%	84 6.5%	1,295 100%
9	海、山、川、里山などの自然環境の保全 (37.0%)	77 5.9%	402 31.0%	451 34.8%	235 18.1%	53 4.1%	77 5.9%	1,295 100%
10	水のきれいさ (河川・水路・池沼・海など) (36.4%)	86 6.6%	386 29.8%	429 33.1%	265 20.5%	59 4.6%	70 5.4%	1,295 100%
11	環境に関する市からの情報提供 (広報紙、テレビ、ホームページなど) (31.8%)	88 6.8%	324 25.0%	587 45.3%	167 12.9%	49 3.8%	80 6.2%	1,295 100%
12	公共交通機関の便利さ (26.6%)	93 7.2%	251 19.4%	316 24.4%	355 27.4%	211 16.3%	69 5.3%	1,295 100%
13	省エネルギーの取り組み (21.2%)	30 2.3%	245 18.9%	730 56.4%	165 12.7%	38 2.9%	87 6.7%	1,295 100%
14	再生可能エネルギーの推進(太陽光、風力、水力 発電などの、枯渇しないエネルギー) (20.6%)	51 3.9%	216 16.7%	687 53.1%	203 15.7%	56 4.3%	82 6.3%	1,295 100%
15	自治会やNPO団体などの環境保全活動 (17.7%)	34 2.6%	195 15.1%	847 65.4%	103 8.0%	31 2.4%	85 6.6%	1,295 100%
16	環境に関する講座や観察会などのイベント (11.0%)	17 1.3%	126 9.7%	900 69.5%	129 10.0%	30 2.3%	93 7.2%	1,295 100%

住まいの周辺環境の重要度

《市民のみ》

「重要」又は「やや重要」と回答した人が多かった項目は、「まちの清潔さ・きれいさ(ごみの散乱・ペットのふんなど)」であり、「環境に関する講座や観察会などのイベント」が最も低かった。

(「重要」、「やや重要」と回答した人の割合が高い順)

No.	質問事項 ()内の数値は「重要」、「やや重要」と回答した人の割合の合計	重要	やや重要	どちらとも いえない	あまり でない 重要	重要 でない	無 回 答	合 計
1	まちの清潔さ・きれいさ (ごみの散乱・ペットのふんなど) (84.4%)	765 59.1%	328 25.3%	61 4.7%	4 0.3%	1 0.1%	136 10.5%	1,295 100%
2	海、山、川、里山などの自然環境の保全 (84.1%)	814 62.9%	275 21.2%	74 5.7%	4 0.3%	1 0.1%	127 9.8%	1,295 100%
3	空気のきれいさ (車の排気ガス、空気のかすみなど) (83.1%)	819 63.2%	257 19.8%	76 5.9%	4 0.3%	2 0.2%	137 10.6%	1,295 100%
4	水のきれいさ (河川・水路・池沼・海など) (83.0%)	815 62.9%	260 20.1%	77 5.9%	3 0.2%	3 0.2%	137 10.6%	1,295 100%
5	ごみが決められたルールどおりに出されるように するための取り組み (82.7%)	731 56.4%	340 26.3%	84 6.5%	2 0.2%	4 0.3%	134 10.3%	1,295 100%
6	ごみを減らし、できるだけリサイクルする取り組み (80.8%)	734 56.7%	312 24.1%	105 8.1%	7 0.5%	4 0.3%	133 10.3%	1,295 100%
7	自然の景観の美しさ (80.7%)	695 53.7%	350 27.0%	106 8.2%	8 0.6%	1 0.1%	135 10.4%	1,295 100%
8	公共交通機関の便利さ (77.3%)	579 44.7%	422 32.6%	133 10.3%	19 1.5%	5 0.4%	137 10.6%	1,295 100%
9	再生可能エネルギーの推進(太陽光、風力、水力 発電などの、枯渇しないエネルギー) (76.6%)	691 53.4%	301 23.2%	154 11.9%	10 0.8%	2 0.2%	137 10.6%	1,295 100%
10	省エネルギーの取り組み (75.9%)	623 48.1%	360 27.8%	156 12.0%	13 1.0%	3 0.2%	140 10.8%	1,295 100%
11	まちの静けさ (騒音や振動など) (75.5%)	487 37.6%	491 37.9%	164 12.7%	15 1.2%	2 0.2%	136 10.5%	1,295 100%
12	自然とふれあう機会 (水辺、農地や土、生きものなど) (74.1%)	520 40.2%	440 34.0%	171 13.2%	17 1.3%	4 0.3%	143 11.0%	1,295 100%
13	地産地消の推進 (72.0%)	530 40.9%	403 31.1%	196 15.1%	18 1.4%	7 0.5%	141 10.9%	1,295 100%
14	環境に関する市からの情報提供 (広報紙、テレビ、ホームページなど) (66.0%)	394 30.4%	461 35.6%	267 20.6%	25 1.9%	6 0.5%	142 11.0%	1,295 100%
15	自治会やNPO団体などの環境保全活動 (51.0%)	269 20.8%	391 30.2%	448 34.6%	23 1.8%	14 1.1%	150 11.6%	1,295 100%
16	環境に関する講座や観察会などのイベント (45.0%)	198 15.3%	385 29.7%	511 39.5%	44 3.4%	11 0.8%	146 11.3%	1,295 100%

環境に関する経営方針や管理手法の導入

《事業所のみ》

「既に実施している」又は「今後、実施したい」と回答した事業所の割合が最も多かった項目は、「環境担当部門や担当者の配置」の11.5%であり、全体的に環境に関する経営方針や管理手法の導入への意識は高まっているが、積極的には進んでいない。

(「既に実施している」、「今後、実施したい」と回答した事業所の割合が高い順)

No.	質問事項 ()内の数値は「既に実施している」、 「今後、実施したい」と 回答した人の割合の合計	既 に 実 施 し て い る	実 施 し た い 今 後 、	現 在 、 検 討 中 で あ る	実 施 の 予 定 は な い	ど の よ な も の か 知 ら な い	無 回 答	合 計
1	環境担当部門や担当者の配置 (11.5%[7.4%])	6 5.3%	7 6.2%	5 4.4%	75 66.4%	11 9.7%	9 8.0%	113 100%
2	ISO14001の認証取得 (10.6%[5.0%])	7 6.2%	5 4.4%	2 1.8%	64 56.6%	24 21.2%	11 9.7%	113 100%
3	自主的な環境管理計画(環境に配慮した原材料、物品、 サービスなどの購入ガイドライン)の策定 (9.7%[9.9%])	6 5.3%	5 4.4%	8 7.1%	70 61.9%	15 13.3%	9 8.0%	113 100%
4	環境に関する内部監査の実施 (8.8%[5.0%])	7 6.2%	3 2.7%	3 2.7%	79 69.9%	12 10.6%	9 8.0%	113 100%
5	環境報告書の作成 (8.0%[6.6%])	6 5.3%	3 2.7%	4 3.5%	80 70.8%	11 9.7%	9 8.0%	113 100%
6	エコアクション21の認証取得 (3.5%[3.3%])	0 -	4 3.5%	6 5.3%	59 52.2%	33 29.2%	11 9.7%	113 100%
6	その他の環境マネジメントシステムの導入 (3.5%[1.7%])	1 0.9%	3 2.7%	4 3.5%	70 61.9%	23 20.4%	12 10.6%	113 100%
8	その他 (-%[-%])	0 -	0 -	3 2.7%	0 -	0 -	110 97.3%	113 100%

日頃行っている環境保全の取り組み

《市民》

「いつも行っている」又は「時々行っている」と回答した人の割合が高かった項目は、前年度と同様に「ごみと資源物の分別をきちんと行いリサイクルに努めている」であった。

(「いつも行っている」、「時々行っている」と回答した人の割合が高い順)

No.	質問事項 ()内の数値は「いつも行っている」、 「時々行っている」と回答した人の割合の 合計、[]内は前年度の割合※	行 つ つ い も る	行 つ つ て い る 時 々	行 つ つ て い な い が 今 後 行 い たい	い 、 ま た は 行 つ て い な い 今 後 も 行 わ な い	該 当 し な い	無 回 答	合 計
1	ごみと資源物の分別をきちんと行いリサイクルに努めている (93.4%[91.9%])	1,049 81.0%	161 12.4%	33 2.5%	9 0.7%	-	43 3.3%	1,295 100%
2	油や食べ残しを排水口へ流さないようにしている (91.0%[91.4%])	970 74.9%	208 16.1%	52 4.0%	14 1.1%	-	51 3.9%	1,295 100%
3	買い物には、買い物かごや買い物袋を持っていき、レジ袋はもらわないようにしている (90.0%[79.0%])	928 71.7%	237 18.3%	45 3.5%	38 2.9%	-	47 3.6%	1,295 100%
4	車を使用する時は、不要なアイドリング、空ぶかしや急発進などをしないようにしてエコドライブを行っている (89.7%[89.6%])	756 69.3%	223 20.4%	38 3.5%	21 1.9%	204	53 4.9%	1,091 100%
5	食材は無駄なく使い、鍋底から炎がはみ出さないようにするなど、エコクッキングを行っている (86.1%[83.1%])	754 58.2%	361 27.9%	83 6.4%	43 3.3%	-	54 4.2%	1,295 100%
6	物は大切にし、修理したりして長く使うようにしている (85.1%[85.3%])	653 50.4%	449 34.7%	112 8.6%	28 2.2%	-	53 4.1%	1,295 100%
7	歯を磨くときは水道を止めたり、風呂の残り水を洗濯に使ったり、日常の生活で節水に努めている (83.4%[83.6%])	740 57.1%	340 26.3%	112 8.6%	57 4.4%	-	46 3.6%	1,295 100%
8	シャワーはこまめに止めて利用するよう心がけている (81.0%[81.4%])	571 55.3%	266 25.8%	106 10.3%	34 3.3%	262	56 5.4%	1,033 100%
9	皿洗いや洗面などは、冷たくない程度の温水か、水を使うようにしている (78.8%[79.0%])	616 47.6%	404 31.2%	114 8.8%	99 7.6%	-	62 4.8%	1,295 100%
10	食材は地元産の旬のものを購入するよう努めている (76.7%[73.7%])	449 34.7%	544 42.0%	181 14.0%	67 5.2%	-	54 4.2%	1,295 100%
11	詰め替え商品や再使用、再生利用しやすい商品やエコマークのついた商品を優先して購入している (75.0%[72.5%])	520 40.2%	451 34.8%	191 14.7%	81 6.3%	-	52 4.0%	1,295 100%
12	生ごみ袋の水分を絞ったり、乾燥させて軽量化させたり、生ごみの減量に取り組んでいる (74.1%[72.3%])	572 44.2%	388 30.0%	201 15.5%	84 6.5%	-	50 3.9%	1,295 100%
13	テレビや照明をつけっぱなしにしないようにしたり、使っていない電化製品はコンセントからプラグを抜いたり、省エネに心がけている (73.8%[78.9%])	508 39.2%	448 34.6%	215 16.6%	69 5.3%	-	55 4.2%	1,295 100%
14	冷暖房を使うときの室温は、冷房28℃・暖房20℃を目安としている (64.9%[64.5%])	416 32.1%	424 32.7%	227 17.5%	165 12.7%	-	63 4.9%	1,295 100%
15	山や海などの自然にふれあう機会を持っている (51.3%[50.5%])	230 17.8%	434 33.5%	376 29.0%	183 14.1%	-	72 5.6%	1,295 100%
16	地域における環境保全活動に参加している (地域の清掃、資源集団回収など) (51.2%[52.9%])	368 28.4%	295 22.8%	282 21.8%	279 21.5%	-	71 5.5%	1,295 100%
17	なるべく公共交通機関や自転車などの利用や徒歩を心がけている (47.1%[47.6%])	307 23.7%	303 23.4%	311 24.0%	300 23.2%	-	74 5.7%	1,295 100%
18	環境家計簿をつけ、環境に優しい日常生活となっているかチェックしている (28.0%[26.1%])	179 13.8%	184 14.2%	411 31.7%	422 32.6%	-	99 7.6%	1,295 100%
19	環境保全に関するイベントや講座などに参加している (させばエコプラザ・九十九島ビジターセンターなど) (5.8%[8.6%])	14 1.1%	61 4.7%	526 40.6%	613 47.3%	-	81 6.3%	1,295 100%

※「該当しない」を除いた割合で計算

日常の取り組みで障害と感じていること

《市民》

障害と感じている人の割合が最も多かった項目は、前年度と同様に「環境にやさしい商品、製品の購入費用が高い」であった。

(障害と感じている割合が高い順)

No.	項目	回答数	割合	前年度比	前年度
1	環境にやさしい商品、製品の購入費用が高い	448	34.6%	1.0	33.6%
2	特に障害を感じることはない	313	24.2%	4.9	19.2%
3	手間がかかる	311	24.0%	△ 0.3	24.4%
4	取り組みを持続することが難しい	303	23.4%	△ 0.8	24.2%
5	何をどのように取り組めば良いのかわからない	294	22.7%	0.5	22.2%
6	取り組んだ成果が実感できない	267	20.6%	1.3	19.3%
7	取り組みに対しての優遇措置(助成金等)が少ない	182	14.1%	△ 0.5	14.5%
8	行うきっかけがない	166	12.8%	0.9	11.9%
9	無回答	156	12.0%	△ 1.0	13.0%
10	取り組まない場合でも、負担・規制・罰則などがない	143	11.0%	△ 2.7	13.7%
11	今の生活が快適なので、変えたくない	128	9.9%	1.6	8.3%
12	その他	59	4.6%	0.7	3.8%
合計		2,770			

※ 有効回答数(N):1,295名

《事業所》

障害と感じている事業所の割合が最も高かった項目は、「環境にやさしい商品、製品の購入費用が高い」であった。

(障害と感じている割合が高い順)

No.	項目	回答数	割合	前年度比	前年度
1	環境にやさしい商品、製品の購入費用が高い	41	36.3%	△ 5.9	42.1%
2	手間がかかる	40	35.4%	7.3	28.1%
3	何をどのように取り組めば良いのかわからない	36	31.9%	1.3	30.6%
4	取り組んだ成果が実感できない	23	20.4%	12.1	8.3%
4	取り組みに対しての優遇措置(助成金等)が少ない	23	20.4%	4.7	15.7%
4	特に障害を感じることはない	23	20.4%	△ 0.3	20.7%
7	取り組みを持続することが難しい	17	15.0%	△ 2.3	17.4%
8	行うきっかけがない	16	14.2%	△ 2.4	16.5%
9	取り組まない場合でも、負担・規制・罰則などがない	15	13.3%	0.1	13.2%
10	無回答	12	10.6%	0.7	9.9%
11	自社だけ取り組んでも仕方がないと思う	5	4.4%	△ 2.2	6.6%
12	表彰、認証制度がない	3	2.7%	△ 1.5	4.1%
13	その他	2	1.8%	△ 0.7	2.5%
合計		256			

※ 有効回答数(N):113事業所

省エネルギー・再生可能エネルギー関連機器の設置・利用について
《市民》

No.	質問事項 ()内の数値は、「現在利用している」、「今後導入を考えたい」、「安くなれば導入したい」と回答した人の割合の合計	現在利用している	今後導入を考えたい	安くなれば導入したい	導入するつもり	わからない	無回答	合計
1	電気自動車 (49.5%)	24 1.9%	99 7.6%	518 40.0%	283 21.9%	225 17.4%	146 11.3%	1,295 100%
2	太陽光発電 (37.5%)	123 9.5%	60 4.6%	303 23.4%	473 36.5%	195 15.1%	141 10.9%	1,295 100%
3	家庭用燃料電池 (エネファーム) (30.7%)	28 2.2%	48 3.7%	322 24.9%	395 30.5%	348 26.9%	154 11.9%	1,295 100%
4	家庭用蓄電池 (41.3%)	44 3.4%	81 6.3%	410 31.7%	325 25.1%	288 22.2%	147 11.4%	1,295 100%
5	雨水貯留タンク (25.5%)	43 3.3%	65 5.0%	222 17.1%	473 36.5%	334 25.8%	158 12.2%	1,295 100%

《事業所》

No.	質問事項 ()内の数値は、「現在利用している」、「今後導入を考えたい」、「安くなれば導入したい」と回答した事業所の割合の合計	現在利用している	今後導入を考えたい	安くなれば導入したい	導入するつもり	わからない	無回答	合計
1	太陽光発電設備 (40.7%)	11 9.7%	10 8.8%	25 22.1%	44 38.9%	18 15.9%	5 4.4%	113 100%
2	次世代自動車の導入 (66.4%)	19 16.8%	14 12.4%	42 37.2%	13 11.5%	19 16.8%	6 5.3%	113 100%
3	雨水貯留タンク (26.5%)	5 4.4%	6 5.3%	19 16.8%	45 39.8%	31 27.4%	7 6.2%	113 100%

エコ資金について

《事業所のみ》

No.	質問事項	回答数	割合	前年度比	前年度
1	名前も具体的な内容も知っている	1	0.9%	△ 1.6	2.5%
2	名前は知っているが、具体的な内容は知らない	32	28.3%	4.4	24.0%
3	初めて聞く名前である	70	61.9%	△ 5.0	66.9%
4	無回答	10	8.8%	2.2	6.6%
合計		113			

「食品ロス」について

《市民のみ》

■ 日本の「食品ロス」の状況について、知っていたか。

項目	回答数	割合
知っていた	962	74.3%
知らなかった	199	15.4%
無回答	134	10.3%
合計	1,295	

■ これまでに、食品を食べることができずに、捨てたことはありますか。

項目	回答数	割合
捨てたことがある	965	74.5%
捨てたことはない	197	15.2%
無回答	133	10.3%
合計	1,295	

■ 「捨てたことがある」と答えた方において、捨てた理由

項目	回答数	割合
食品の鮮度が落ちたり、腐ったり、カビが生えたから	750	77.7%
食品の消費期限・賞味期限を過ぎたから	564	58.4%
食品の色やにおいなどで、不安を感じたから	481	49.8%
食品が中途半端に余ったから	154	16.0%
その他	29	3.0%
合計	1,978	

※ 有効回答数(N):965名

■ 食品ロスをなくす取り組みをしているか

項目	回答数	割合
いつも行っている	476	36.8%
時々行っている	495	38.2%
行っているが、今後取り組んでみたい	118	9.1%
行っていないし、今後も取り組みたいと思わない	9	0.7%
無回答	197	15.2%
合計	1,295	

「3010運動」について

《事業所のみ》

■ 「3010運動」について、知っていたか

項目	回答数	割合
知っていた	20	17.7%
知らなかった	83	73.5%
無回答	10	8.8%
合計	113	

■ 「3010運動」について、取り組んだことがあるか

項目	回答数	割合
いつも取り組んでいる、または取り組んだことがある	7	6.2%
取り組んだことはないが、今後、取り組んでみたい	29	25.7%
取り組んだことはなく、今後も取り組んでみたいとは思わない	12	10.6%
宴会を開く機会がない	51	45.1%
無回答	14	12.4%
合計	113	

「古紙類の資源化」について

《市民のみ》

■ 臭いや汚れのついた紙、加工された紙は「燃やせるごみ」になることを、知っていたか。

項目	回答数	割合
知っていた	1,062	82.0%
知らなかった	165	12.7%
無回答	68	5.3%
合計	1,295	

■ 資源になる「古紙類」を燃やせるごみに出したことがあるか。

項目	回答数	割合
ある	568	43.9%
ない	655	50.6%
無回答	72	5.6%
合計	1,295	

■ 「古紙類」を燃やせるごみに出したことが「ある」と回答した方において、どのような古紙を燃やせるごみに出したか。

項目	回答数	割合
新聞	111	19.5%
雑誌(週刊誌、漫画、カタログなど)	176	31.0%
飲料用紙パック(牛乳パックなど)	295	51.9%
雑古紙(空き箱、封筒、メモ用紙、包装紙など)	436	76.8%
段ボール	100	17.6%
合計	1,118	

※ 有効回答数(N):568名

■ 古紙を燃やせるごみに出した理由

項目	回答数	割合
分別がわずらわしい	186	32.7%
資源物収集の日まで待てない	142	25.0%
置いておく場所がない	155	27.3%
資源として再生できると思っていない	60	10.6%
資源として再生する必要がないと思っている	14	2.5%
資源物として分別するべきことを知らなかった	54	9.5%
何が「資源になる古紙類」に該当するか分からない	85	15.0%
その他	124	21.8%
合計	820	

※ 有効回答数(N):568名